

取材店 川尻蔵前うどん・ぬま田

今回の川尻うまかもんは12月1日にオープンした『川尻蔵前うどん・ぬま田』です。代表の沼田茂雄(ぬまたしげお)さんは和食一筋40年。沼田さんが作るうどんは、手延べのこだわり麵を使用した創作うどん。夜の営業では一品料理をはじめ、これからの季節にぴったりなおススメおでんもあり、瑞鷹の日本酒や沼田さん選りすぐりのお酒も多数ご用意しております。お昼は家族とランチ、夜は一杯呑んでメにうどん!なんていかがですか?最後に沼田さんから一言。「川尻の発展に貢献できるように頑張っていきます!皆さまのご来店お待ちしております。」



住所: 熊本市南区川尻4丁目5-41
TEL: 096-223-8366
(2階では団体様のご予約も承っております。)
営業時間: (昼) 11:00~15:00 (夜) 17:30~21:00 オーダーストップ
店休日: 未定

頑張る川尻人 河陽新聞は、ガンバル 少年少女を全力で応援します!



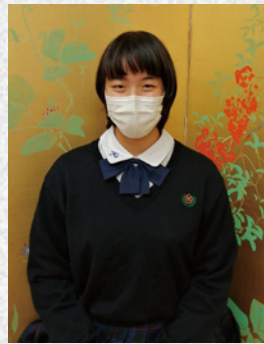
全日本ユースチャンピオンin川尻

熊本中央高校3年浦田佳穂さん(10町内)は、2020年2月に東京で開催された『プーチン大統領杯 第46回全日本ユースサンボ選手権』に出場し、見事優勝されました。サンボとは、柔道とレスリングを合わせたようなロシア生まれの総合格闘技で、ロシアの国技でもあります。



なんと浦田さん、昨年9月にモンゴルで開催されたサンボの国際大会にも出場しており、大会最優秀選手に選ばれたそうです!!さらに今年9月には、その活躍が認められ、文部科学大臣特別賞を受賞!!!

その強さは、かわいらしい制服姿からは想像できないほどです。もはや霊長類第2位くらいの強さと言っても過言ではないような(笑)。そんな浦田さんは、柔道部に所属、監督でありサンボの第一人者でもあるvictor(ビクトル)板橋先生による指導のもと、毎日練習に励んでいます。将来は警察官志望で、来春からは大学へ進学され、強さに磨きをかけるそうです。今後の活躍がたのしみです。



「くまもと描く力」 優秀賞受賞

2014年に熊日が創設した美術公募展「くまもと描く力」の表彰式が、2020年11月22日に開催されました。絵画愛好者や高校生が多くの作品を出品。

今年は7町内の第二高等学校美術科1年 金井胡実さんが見事優秀賞を受賞しました。



平成から令和へ。川尻の“いま”を伝えます

河陽新聞

Vol.30
2020.12.5
KAWASHIRI AREA
NEWSPAPER
KAYOU SHINBUN



正代関と川尻  記者 金井俊行 (7町内)



祝! 優勝



熊本農業高校相撲部と正代関の懐かしい写真

9月下旬、熊本県宇土市出身の力士は「至誠一貫の精神で相撲道に邁進してまいります。」と力強く言葉を述べ、熊本出身の大関が誕生しました。58年ぶりの快挙でした。

その正代関は川尻校区の熊本農業高校に通い、相撲の基礎を学びました。3年生になると国体相撲少年の部で優勝。また在学中には川尻青年協議会主催『春わっしょい相撲大会』で子どもたちに相撲を教えたり行司をしたり、相撲を取ったりと。平成20年12月にはかわしりこども園(川尻保育園)で餅つきのお手伝いをしたりと、川尻校区と縁が深い力士です。

そこで、熊本農業高校相撲部の早野将史先生に取材したところ、「当時の正代関は、1年2年時に鍛えに鍛えたので相当辛かったでしょうね。2年生の終わりくらいから頭角を現し出しました。」秋場所は見られましたか?と尋ねたところ「優勝のかかった千秋楽では緊張しているのがわかりました。本当に優勝してくれて良かったです。教え子が優勝したと思うと喜びも格段に違います。」と嬉しそう語ってくださいました。

また正代関の母、正代 理恵さんとお会いできたので高校時代の話を聞いてみたところ、とにかく部活メインの生活で一生懸命相撲を頑張ったとのこと。十両で対戦したい相手を聞かれて「誰も当たりたくないです」と答えたり、憧れの力士は

いないと答えるなど、「超ネガティブ関取」と話題になった話をお母さんにしたところ、笑いながら「そうそう、子どものころから負けそうな相手と試合する時は「負けてもおこらないでね。」と言ってましたし、絶対に勝つと言って向かっていくタイプじゃなかったですね。メンタルが弱いところがあっただけ〜」と。また優勝のかかった秋場所千秋楽の翔猿との取組では、「息子は緊張してましたね〜。ぜんぜん足が出てなかったですもん。」と言いつつも、とても嬉しそうに語っておられました。「大関となって、負けられない立場になったんだなあと思います。昔みたいに負けてもいいやって思えなくなりました。本人もそうだと思いますが、家族もプレッシャーを感じます。」と。また「これを機に熊本で相撲をする子どもたちが増えることを願います。」次は綱取りですねと笑いながら取材を終えました。これからの正代関の活躍に注目です。



かわしりこども園(川尻保育園)での餅つきの様子。平成20年12月に行われました。

編集後記

今回の河陽新聞は、withコロナの中でもしっかりと着実に動いている川尻校区を取り上げてみました。川尻蔵前うどんのぬま田さん、浦田佳穂さん、金井胡実さん、川尻小の緑の少年団、そして正代関など前向きな記事を届けることが出来て嬉しく思っております。

また防災に関してはこれからの社会は「自分の身は自分で守る」姿勢が更に重要になりそうですので、ますます備えが必要になっていくかもしれません。そんな中でも次の1,000年へ向けて川尻校区のみなさんに楽しい記事を届けていきたいと思います。

読者プレゼント

【サブリーポップコーン】
プレミアム
ポップコーン 30名様



【川尻蔵前うどん・ぬま田】
うどん定食 10名様



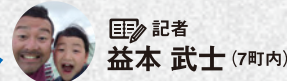
「河陽新聞」をお読みいただき、ありがとうございます。「サブリーポップコーン」からし連根風味ポップコーン」を抽選で30名さまに、「川尻蔵前うどん・ぬま田」の「うどん定食」を10名さまにプレゼントいたします。

ご応募は kayou.shinbun@gmail.com に氏名・住所・連絡先・今号の感想を記入してメールしてください。当選者の方にはご案内を返信いたします。(商品は手渡しになります。詳細はご当選者様にお送りします) こちらのQRコードから送れます→



熊本農業高校相撲部より川尻校区の子どもたちへお知らせです。来年春わっしょいに向けて相撲体験を一緒にしませんか? 12月中旬から来年3月まで16時半から19時半まで詳細・体験申し込み TEL 096-357-8800(早野)まで 目指せ! 次の正代関!!

次の1,000年を目指したまちづくりへ



先 日、河陽新聞編集部で川尻校区のまちづくりに関して匿名で情報提供があり、秘密裏に調査を進めてきました。今回、河陽新聞史上初の“河陽砲”を繰り出します(笑) 仕掛人である一般社団法人川尻まちづくり(以下川尻まちづくり)代表理事 栗崎剛さんへ突撃取材を敢行しました。

益本 最近、瑞鷹や東肥周辺が慌ただしいみたいですが、栗崎さん、何か絡んでいませんか(-.-)y° ° ?

栗崎 実は経済産業省の補助事業である「水と歴史のまち川尻の観光創出事業」を川尻まちづくりが中心となり取り組んでいます。

益本 そうなんですね! では今後どうなっていくのでしょうか?

栗崎 東肥横の瀬川時計店跡地にアンテナショップを作り観光の起点にします。

益本 みんな気になると思います。どのような観光の起点をイメージしているのでしょうか?

栗崎 川尻といえば米蔵なので米や発酵物。インスタ映えとしてスムージーなどの物販やイートイン、テイクアウトなど。まずは川尻校区、南区、熊本市の人が立ち寄り、そして街中を散



アンテナショップ建設予定の瀬川時計店跡地

トイレ付の観光用大型駐車場予定地

策できるアンテナショップを目指しています。

益本 でも川尻には宿泊施設がないと言われていたんですが?

栗崎 宿泊者やインバウンドにも対応できるようにアンテナショップの2階は簡易宿泊施設を考えています。

益本 瑞鷹本社前は現在更地ですが、どうするつもりでしょうか?

栗崎 観光バスが3台停まれる駐車場を作り、トイレも設けて国指定文化財の熊本藩川尻米蔵跡に多くの観光客に回遊してもらうよう準備しています。

益本 まだまだ仕掛けがありそうですね?

栗崎 例えば川尻といえば、柔道王の木村政彦さん。そんな川尻ならではの特色とITを活用して、川尻校区のために色々な仕掛けを準備していきます。

「鎌倉時代以前に川尻が出来て約1,000年、これから次の1,000年へ向けて」、川尻校区一体となり新しい川尻を作っていきます!!



川尻公会堂で「おつまみフェスタ」を開催



※おつまみフェスタはコロナウイルス感染状況により急遽中止する場合がございます

突 然ですが、みなさんお気に入りの「おつまみ」は何でしょうか?コロナ禍で宅飲みが増える中で、自慢の「おつまみ」を作っているお父さん、お母さんは多いかと思ひます。そのおつまみをぜひ紹介していただけないでしょうか。

この度12月27日(日)13時から川尻公会堂で「おつまみフェスタ」を開催します。この催しの目的は、2019年春にリニューアルし、2019年度日本建築防災協会理事長賞を受賞した川尻公会堂を住民の方に気軽に利用していただく足掛かりになればと考え開催の運びとなりました。当然ソーシャルディスタンスを十分に取り、コロナ対策を徹底して開催いたします。

公会堂には調理室がありますので、そこで自慢の「おつまみ」を作って(持参して)いただき、美味しいお酒(瑞鷹)と試食しながら語らいの場としましょう。

フェスタや参加などの問い合わせは右のQRコードを読み取りメールをお願いいたします。



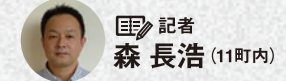
みんなで公会堂を利活用しましょう

川尻公会堂 利用料金

	午前	午後	夜間	延長・繰上げ	
	午前9時～正午	午後1時～午後5時	午後6時～午後10時	正午～午後1時	午後5時～午後6時
和室	400円	500円	500円	120円	120円
調理室	1,000円	1,200円	1,200円	300円	300円
大広間	1,800円	2,000円	2,000円	500円	500円

※定休日:火曜・祝日
 ※営利を目的とした活動の場合には料金が加算されます
 ※冷暖房及び付属設備を利用する場合には、別途利用料がかかります

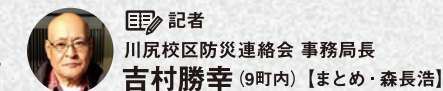
川尻小学校緑の少年団、全国表彰!



今 年度、川尻小学校の緑の少年団が、全国緑の少年団表彰みどりの奨励賞(全国緑の少年団連盟会長賞)を受賞しました。花や野菜を育てるなど日頃の地道な活動や、旅する蝶アサギマダラに関する活動が認められたとのことです。北海道で行われる予定だった表彰式は新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となりましたが、代わりに9/29に熊本県庁で表彰が行われ、蒲島知事から賞状が手渡されました。子供たちの頑張り先生方の熱意が身を結んだもので、地域としても多に誇れる受賞となりました。



台風10号における対応と今後の対策について



今 年9月の台風10号接近は前例のないほどの強さという情報もあり、地域の皆さんは心配されたことと思います。そしてこの台風接近前に配付された避難所等の案内に川尻小学校・城南中学校・熊本農業高校が避難所指定されないと記載があったことで、予備知識もないため驚かれた方が多かったようです。また、この情報を受けて他地域の避難所に向かったところ、コロナウイルス対策による人数制限で避難を受け入れられなかった方もおられたことから、災害発生時の避難や情報周知のあり方にも課題があることが分かってきました。

今回の川尻小等の避難所指定除外の理由は、平成23年に策定された「熊本市高潮ハザードマップ」による基準「台風が930ヘクトパスカル以下、風速45m以上で熊本県の西側を通過する場合」に該当し、川尻校区も浸水想定地域となったことでした。加えて接近日は大潮であったため、避難者の安心と安全を確保するため今回の決断となりました。ちなみに今回南区では4,443名の住民が市の指定避難所への避難行動をとっており、川尻校区においても261名の方が避難をしています(図を参照)。

避難行動について、避難は「難」を「避」けることであり、避難所へ避難することだけが避難ではなく、避難先は必ずしも市の指定避難所(小中学校や公民館等)だけではないため、まずは安全な親戚や知人宅への避難可能であれば、それを優先させた方が良くとも言えます。また今回の避難行動に

おいてはホテルや旅館などの個室を選ばれる住民も多くみられるなど、避難のあり方もさまざまでした。これらを踏まえ、行政において今後の対策のため12月中に川尻校区全世帯へ「避難行動に関するアンケート」をお願いすることです。避難のあり方については今後も行政と連携していかねばなりません。アンケートの結果に基づき、地域住民の意見が今後の対策に効果的に反映されることが望まれます。

台風10号に係る川尻校区避難状況

